

編集後記

今号は、特別展「工芸継承――東北発、日本インダスト リアルデザインの原点と現在 | の紹介である。地震の影響 を受けながらも、当初のスケジュールどおりに開催する運 びとなった。表紙の写真は下記にもあるとおり、2016年の リオデジャネイロで開催されたオリンピックでも使用され た卓球台で、ことにその脚は高度な技術で製作されている ということである。ぜひ展示場の解説とともに、直にご覧 いただきたい。今回の展示では、本号特集のタイトルに「用 の美」ということばが使われているように、日常的な場面 でこれは欲しいというだけでなく、これは使いたいと思う 品々が展示されている。もっとも、実際に買ったら買った で (そのお金が財布にあるかは言わぬが花)、小生にはもっ たいなくて使えないだろうが。(丹羽典生)

●表紙: リオオリンピックで使用された卓球台 [SAN-El infinity 2016] (写真提供:株式会社卓球王国)

次号の予告

特集

「門付け再考――家を訪ねる 日本の芸能の諸相 | (仮)

みんぱくをもっと楽しみたい方のために

国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極 的に活用するためにつくられました。

毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービ スをご用意しております。

維持会員・正会員

『月刊みんぱく』の送付/友の会機関誌『季刊民族学』の送付 /本館展示の無料観覧/特別展観覧料の割引/友の会講演 会への参加/研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

ミュージアム会員

『月刊みんぱく』の送付/本館展示の無料観覧/特別展観 覧料の割引/友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できるみんぱくフリーパスや、学校・学部 単位で利用できるキャンパスメンバーズなど各種会員種 別もございます。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団まで お問い合わせください。 (電話 06 - 6877 - 8893 / 平日 9:00 ~ 17:00)



月刊みんぱく 2018 年 9 月号

第42 巻第9号通巻第492号 2018 年9月1日発行

人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒 565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1

電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生(編集長) 寺村裕史 三島禎子

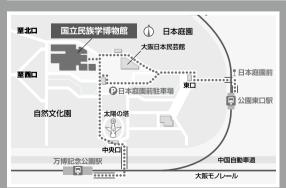
南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一款 長岡綾子 一般財団法人 千里文化財団

制作・協力 毎日新聞社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に お願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



- <歴来PP 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。 ●阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。 ●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある 当館専用通行口をお通りください。
- ●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

http://www.minpaku.ac.jp/

https://www.facebook.com/MINPAKU.official https://twitter.com/MINPAKUofficial https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/ https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial

